

令和5年10月29日（日）

環境楽習館からはけをめぐる

散策ワークショップ

参加者募集！

環境楽習館から国分寺崖線（はけ）や野川の河川敷を巡る散策ワークショップを実施します。
歩きながら小金井の自然環境を学びます。
野川では、川の中に入り、水生生物を採取して観察します。

小金井市環境楽習館のご案内

所在地：小金井市貫井南町3-2-16

電話：042-381-5006

連雀通りを西に進み、小金井警察署の信号で貫井トンネル側の側道に左折し、すぐ左手側

※駐車場の施設はございません。お車での来館はご遠慮ください。



集合時間：9時50分

活動時間：10時から正午まで

集合場所：小金井市環境楽習館

対象：小学生（20人 申込順）※3年生以下は保護者同伴

持ち物：帽子、雨具、タオル、飲み物、ぬれてもよい長袖・長ズボン、ぬれてもよい運動靴（素足・サンダル・長靴不可。くつ下着用）、着替え
※川に入ります。

申込方法：10月2日（月）9時から 市のホームページ又は右記QRコードからお申込みください

問合せ：小金井市環境政策課042-387-9817



国分寺崖線とは

国分寺崖線は立川市砂川九番から始まり、東南に向かって野川に沿って延び、東急線二子玉川駅付近で多摩川の岸辺に近づいて、以後多摩川に沿って大田区の田園調布付近まで続いています。

延長は約30kmで、崖線が始まる立川ではほとんど高低差がありませんが、都立府中病院付近では15、世田谷区の成城学園から下流では20mを超える高低差となっています。

国分寺崖線は、昔の多摩川が南へと流れを変えていく過程で武蔵野台地を削り取ってきた、河岸段丘の連なりです。崖線には湧き水が多くみられ、市街地の中の潤いのある親水空間として、また野鳥や小動物の生活空間として、生物多様性を保全する意味でも貴重な自然環境となっています。



国分寺市真姿の池付近の崖線

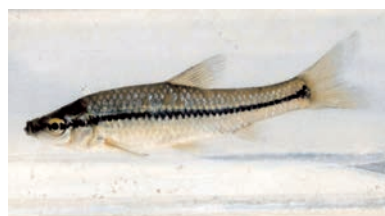


小金井市ムジナ坂

野川の生き物

小金井市近傍の下流、野川公園付近で確認されている野川の生き物は、魚類がタモロコ、メダカ類、ヒガシシマドジョウ、ドジョウ、カワムツ、オイカワ、ヨシノボリ属の一種、甲殻類がカワリヌマエビ属の一種、アメリカザリガニ、貝類がカワニナ、チリメンカワニナ、昆虫ではオニヤンマ、ギンヤンマ、オナガサナエ、シオカラトンボ、シロタニガワカゲロウ等となっています。

今回の観察地点である貫井大橋付近でも同様の生き物が確認されると思われます。



モツゴ



タモロコ



メダカ



オイカワ



ドジョウ



カワリヌマエビのなかま